

事務局説明資料

本日、ご議論いただきたいこと

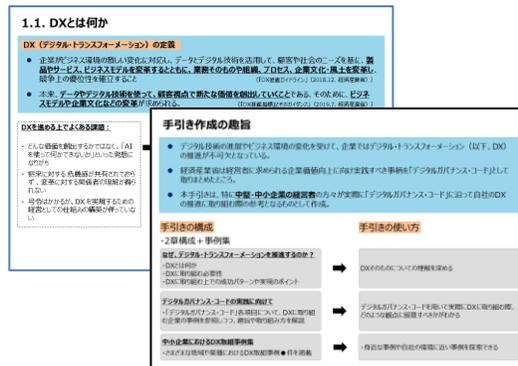
1. 手引きの概要版・要約版（案）について
2. 手引き（案）について

I . 手引きの概要版・要約版（案）について

手引き概要版・要約版（案）について

- 本手引きの概要版（1枚裏表）および要約版（数ページ程度）を作成する。いずれも手引きの項目を抜粋する構成とし、概要版においては、要約版または手引きへ引き込むことを意識したデザインとする。要約版においては、1章の項目および「デジタルガバナンス・コード」実践の取組例の構成とし、特に手引きにおける事例への接続を意識した構成とする。

概要版イメージ



概要版構成：

（表面）

1. 実践例（手引掲載の実践例概要版）
2. 手引きの紹介

（裏面）

3. デジタルトランスフォーメーション（DX）とは何か
4. デジタル技術活用の可能性（メリット）

要約版イメージ



要約版構成：

1. なぜ、DXを推進するのか

- DXとは何か
- デジタル技術活用の可能性（メリット）
- DXの進め方

2. 実践例

- 実践例（手引掲載の実践例を引用）
（参考）デジタルガバナンス・コードとは

Ⅱ. 手引き（案）について

<参考> 中堅・中小企業等向け「デジタルガバナンス・コード」実践の手引き（仮）

- 「デジタルガバナンス・コード」は、対象を「上場・非上場や、大企業・中小企業といった企業規模、法人・個人事業主を問わず広く一般の事業者」とするもの。
- 他方、非上場企業は、所有と経営の関係や企業規模等、上場企業とは異なる点もあるため、上場企業を対象とするDX銘柄の選定基準ともなっている「望ましい方向性」や「取組例」については、そのまま参考とすることが難しい場合もある。
- そのため、非上場企業の中でも特に上場企業と性質の異なる部分が多いと考えられる中堅・中小企業等を対象に、「デジタルガバナンス・コード」に基づく経営の実践の参考となるよう、考え方や実際の事例を記した手引きを作成する。
- なお、手引きは、手引き本体（50P程度）に加え、概要版（1枚裏表）、要約版（数ページ程度）の3種類を作成する。

手引きの構成（ページ数は目安）

1. 中堅・中小企業等におけるDXの意義（20p）

- (1) 手引きの使い方、DXとは
- (2) DXの意義
- (3) DXの成功パターン
- (4) 取組・成果事例

2. DX実現に向けた具体的取組事例

- (1) デジタルガバナンス・コードの中堅・中小企業等向けの書き下し（15p）
- (2) DXの準備・実現に必要な具体的取組例（15p）



中堅・中小企業等向け「デジタルガバナンス・コード」実践の手引き（案）

「(資料5)中堅・中小企業等向け「デジタルガバナンス・コード」実践の手引き(案)」を参照